人間を救うのは、人間だ。

Japanese Red Cross Osaka Hospital
International Medical Relief Department

国内外の救援活動 2023

日本赤十字社 大阪赤十字病院
Japanese Red Cross Society

2022

大阪赤十字病院 活動年表

国内外の医療救援はコロナ禍からポストコロナへ ―実派遣・実働訓練続々再開！―

International Relief Operations and Domestic Relief Operations

国際活動

2月2日 大手前大学国際看護学部へのミニ体験ツアー❶

❶ 国際活動を1日で体験してもらうミニツアーを実施

3月25日 モルドバへ救援部事務職員1名派遣❷

❷

4月3日 レバノンへ救援部看護師1名派遣❸

❸

4月28日 ウクライナへ救援部薬剤師1名派遣

4月29日 国際活動体験ツアー（看護学生向け）❹

❹ 2日間に渡り国際活動を体験してもらうツアーを開催

5月20日 レバノンから救援部看護師が帰国

6月10日 ウクライナ人道危機救援金を集める❺

❺ 救援部で育てた野菜を使ったカレーを販売し、救援金を集める

6月15日 RFIDによる医療消耗品管理システム完成❻

❻ RFID(Radio Frequency Identfication)はICチップを用いて箱の外側から中の情報が読み取れるシステム

6月23日 ウクライナから救援部薬剤師が帰国

7月13日 レントゲンがウクライナ到着

7月15日 救援部薬剤師が摂南大学薬学部で講義❼

❼

7月25日 モルドバから救援部事務職員が帰国

8月4日 レバノンへ救援部医師1名派遣

9月10日 レバノンから救護部医師が帰国（日赤職員向け）❽

❽ 秋は全国の日赤職員向けのツアーを開催

9月13日 国際活動体験ツアー

❾

11月1日 救援部事務職員が滋賀県守山小学校で講演❾

11月17日 救援部看護師が東大阪市長栄中学校で職業講話

❿ 国際救援で扱う医療機器について実践主体の研修を開催

11月18日 当院でヘルステクニカルトレーニング開催（11/19まで）❿

11月22日 救援部薬剤師が大阪府赤十字大会で活動報告⓫

⓫ 寄付者の方々や高円宮妃久子殿下にウクライナでの活動を報告

11月28日 救援部医師1名と当院臨床工学技師1名をシエラレオネへ派遣⓬

⓬ 現地職員と医療倉庫を視察

12月2日 救援部事務職員1名をレバノンへ派遣⓭

12月10日 シエラレオネから救援部医師と当院臨床工学技師が帰国

⓭

国内活動

1月13日 大阪大学医療通訳コース受講者への災害関連講義❶

❶ 国内外の災害医療を、通訳を絡めて講義

1月19日 地震に備えた院内資機材固定完了

3月16日 大阪府災害拠点病院間の通信訓練❷

❷ 防災行政無線や衛星通信が当院に配備されている

4月4日 当院新入職員へのオリエンテーション

5月31日 陸上自衛隊との意見交換❸

❸

6月8日 防災センターあべのタスカル取材訪問❹

❹

6月18日 日本赤十字社近畿ブロック合同訓練

7月23日 災育ランドオープン❺

❺ 小学校高学年向けの防災教育「災育」のオンライン版

8月7日 災育ランドライブ配信❻

❻ 当院や防災機関が作成したコンテンツ、ライブ配信などで構成

9月4日 当院救護員基礎研修❼

❼

10月4日 院内災害訓練実施

10月29日 関西国際空港航空機事故消火救難総合（海上）訓練❽

❽ 多機関連携の訓練。空港周辺海域での航空機事故を想定

11月14日 大阪赤十字病院看護専門学校での授業と演習❾

❾ テント設営など実践型授業

11月26日 救援部医師が門真市主催の災害訓練にて市民向け講演❿

❿ 講演タイトル「普段から知っておこう、災害への備え」

ウクライナ人道危機支援

2022年2月24日から始まったウクライナ人道危機。世界中から支援が届けられる中、大阪赤十字病院国際医療救援部もこの人道危機に対してさまざまな対応をしてきました。3月末には大阪赤十字病院で管理をしている国際救援用の医療資機材を、要請があればいつでもウクライナへ輸送できるよう準備を完了させました。その中の一つ、レントゲンモジュールは要請に応え7月13日には無事にウクライナ西部の町ウジュホロドに到着しました。同じウジュホロドには4月28日から6月23日まで国際医療救援部薬剤師の仲里泰太郎を派遣しました。ウジュホロドにはウクライナ東部から避難民が流入し、医療体制が逼迫していました。仲里薬剤師はフィンランド赤十字社のチームに入り、現地の医療体制を支えるべく仮設診療所のセットアップに従事しました。

ウクライナ避難民を支えるため、世界各地からさまざまな支援が寄せられましたが、これら支援物資を保管・管理し、適切に避難民まで届けるためには大規模なロジスティクスが必要です。このロジスティクスのために3月25日から7月25日まで国際医療救援部の河合謙佑係長を現地の倉庫管理要員としてウクライナの隣国モルドバに派遣しました。

現在も終わりが見えていないウクライナ人道危機ですが、大阪赤十字病院国際医療救援部はこれからもできる支援を続けていきます。

▲ウクライナに到着したレントゲン装置と現地スタッフ

▲レントゲン寄贈のため大阪で急ピッチで準備を進める

レントゲン

X-ray

▲ウクライナ赤十字社の薬剤師と医薬品の在庫を確認

▲各医薬品について管理方法などをウクライナ赤十字社のスタッフに説明
(C)IFRC/Anette Selmer-Andresem

薬剤師

Pharmacist

◀モルドバ赤十字社のスタッフと一緒に、新しい倉庫に支援物資を配置

▲世界各地からの膨大な支援物資も、一つ一つ内容を確認

▲四駆やミニバンなど活動内容に応じて車を配備

倉庫管理

Warehouse Management

パレスチナ赤新月社医療支援事業

ガザ地区

2019年よりパレスチナ自治区・ガザにある病院に対し、医療支援を行っています。治安情勢悪化の影響を受け、2022年は“リモート支援”として週一回現地とオンラインでつなぎ、支援を行いました。当事業では、看護の質の向上を目指し、プロトコールの作成やワークショップの開催などを現地スタッフと共に取り組んでいます。「血圧測定」や「投薬」など、これまで９つのプロトコールを作成し、80人以上の看護師にワークショップを開催しました。リモートでの限界もあり、2023年度は実派遣の再開が予定されています。

▶オンライン会議の様子

▲ワークショップ終了後現地スタッフと

レバノン

新型コロナウイルス感染症により、2020年以降リモートでの支援を余儀なくされていましたが、2022年4月から現地に日赤職員を派遣し、北部のトリポリにあるサファッド病院での事業がついに再開されました。当院の看護師もテクニカルサポートチームの一員として、現地入りし、事業の立ち上げを支援しました。その後も、円滑に事業が進むよう、週一回ウェブ会議を持ち、超音波診断技術やフィジカルアセスメント技術の向上などにむけて、講義やOJTなどへのサポートを継続的に行っています。

▶現地で使う医療資機材を寄贈

▲現地通訳さんと一緒に活動開始

▲現地スタッフとポータブルエコーをセットアップ

院内災害訓練

阪神淡路大震災や東日本大震災クラスの災害という非常事態が発生した時、本院のように規模の大きな市中病院が病院として機能するかしないかは、資機材やシステム、災害対策ガイドライン(BCP)の整備もさることながら、根本的には職員の災害に対する職業意識にかかっています。これは、一部の職員だけが持っていればよいものではなく、全職員がいざ発災という時に同じ意識を持って行動できなければなりません。
当院では、全国的にもほとんど例がない、実災害が起こった時と同様の動きをする実践形式の訓練を毎年行っています。訓練当日は午後から一般診療をすべて止めて全職員が参加します。また、陸上自衛隊、大阪府警察、大阪市消防などの防災機関、周辺医療機関、企業にも参加してもらい、参加者数が1800名を超える大規模な訓練です。
2022年は“こんなときこそ本当にコロナ禍で災害が起こった場合に備えなければならない”ということで実働訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染者も被災者のなかに混ざっている想定で、災害時にどのような対応が適切なのか、平時からの備えをどう向上させていくのかを考える機会になりました。

▲赤(重症)エリアでの処置

▲緑(軽症)エリアの様子

▲模擬被災地からの救助

▲黄(中等症)エリア全体の様子

▲災害対策本部の様子

▲トリアージエリア(正面玄関)でのトリアージ

▲病棟デイルームに増設されたベッド

▲検査技師による検体採取

当院の国内救護、海外支援活動を SNSやYouTubeでリアルタイムに情報発信しています！

▼QRコードからアクセス！

Facebook

Instagram

Twitter

YouTube

小学校、中学校、高校、大学ほか 各施設での講演受付中！

▼ご希望の方はお気軽にこちらまで！

imr@osaka-med.jrc.or.jp

06-6774-5030（直通）

大阪赤十字病院 国際医療救援部

〒543-8555 大阪市天王寺区筆ケ崎町5-30
TEL:06-6774-5111（代表） FAX:06-6774-5131（代表）
https://www.osaka-med.jrc.or.jp/aboutus/international/index.html